

2020
9月

『夏の三角形と天の川をみつけよう』



2020年9月の星空

上旬 22時ごろ
中旬 21時ごろ
下旬 20時ごろ

夏の三角形が頭の真上に

★天の川をみよう！

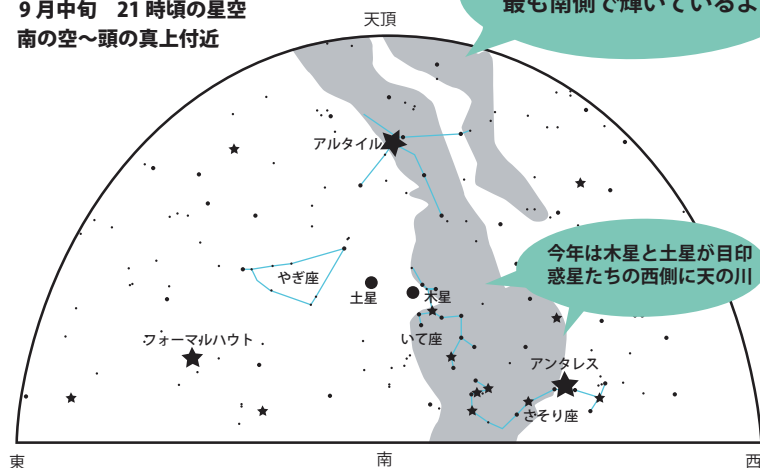
天の川をみたことがありますか？月明かりのない夜、空の暗い場所では、雲のようにぼんやりとした天の川を肉眼で見ることができます。

この季節の天の川は、南の空から頭の真上近く夏の三角形を通り、北の空のカシオペア座まで続いています。双眼鏡や望遠鏡を向けてみると、たくさんの星をみることができます。

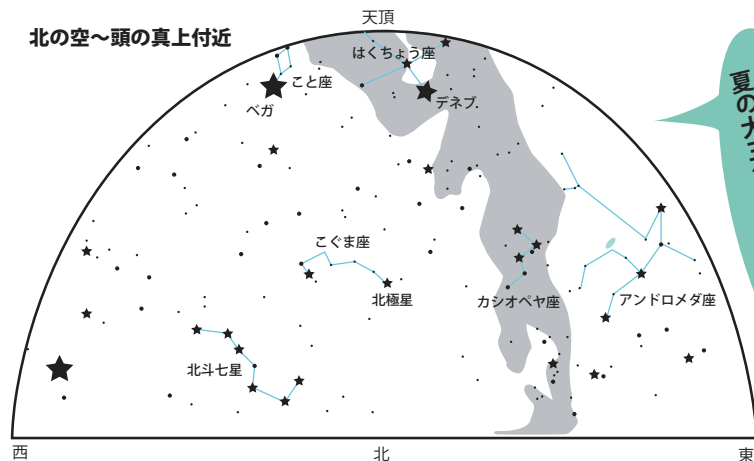
アルタイルは大三角の中で最も南側に輝いているよ！

今年は木星と土星が目印 惑星たちの西側に天の川

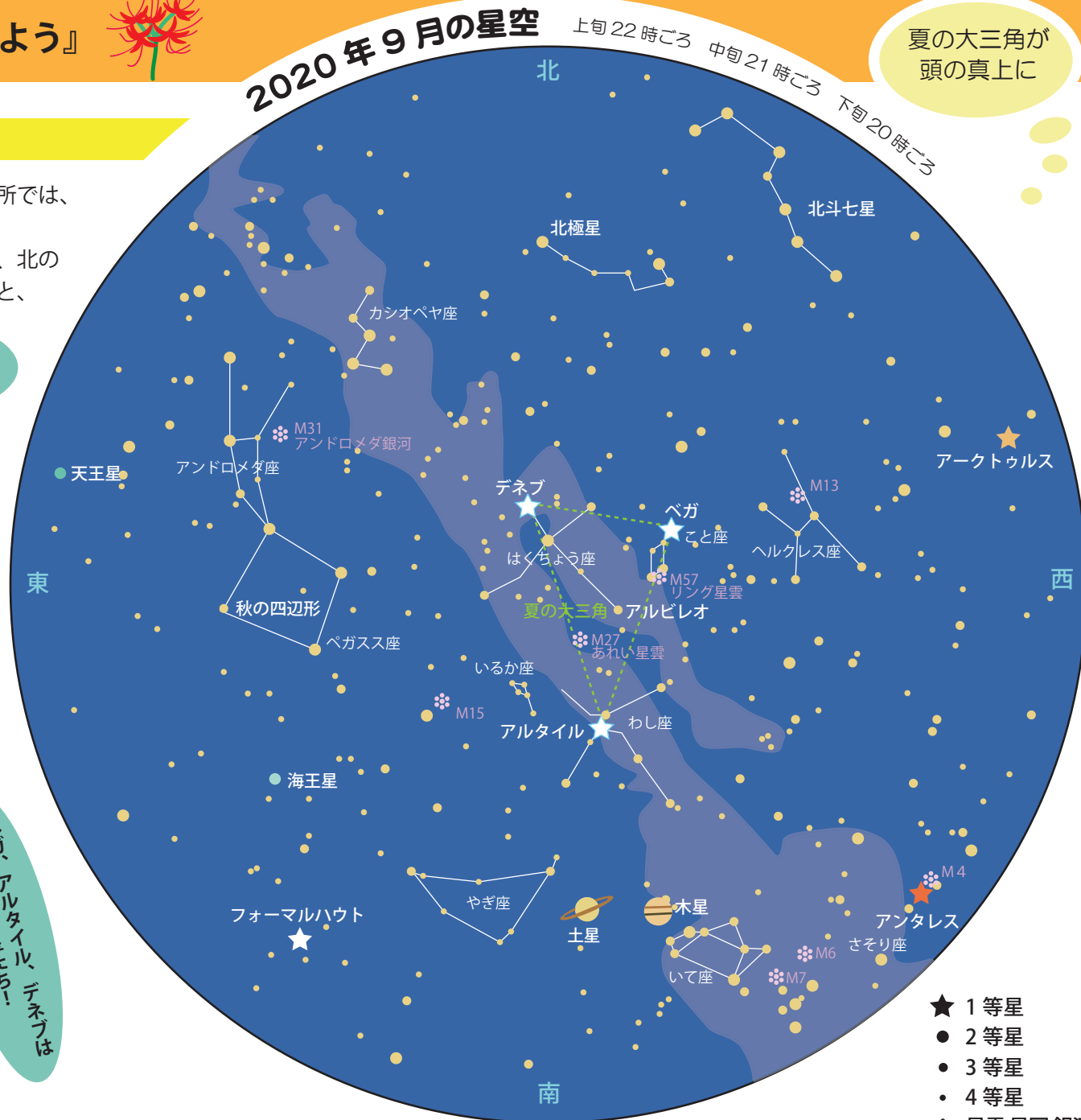
9月中旬 21時頃の星空
南の空～頭の真上付近



北の空～頭の真上付近



夏の三角形の星たち！
ベガ、アルタイル、デネブは



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- ※ 星雲 星団 銀河

◆今月の天文現象

- 2日 ○満月
- 6日 月が火星に接近
- 7日 白露 (太陽黄経 165 度)
- 10日 ●下弦の月
- 17日 ●新月
- 19日 彼岸の入り
- 22日 秋分 (太陽黄経 180 度)
- 24日 ●上弦の月
- 25日 月が木星、土星に接近

秋分とは、太陽がちょうど秋分点 (地球の赤道を延長した「天の赤道」と太陽の通り道「黄道」が交差したところ。黄経 180 度) に到達した瞬間のことをいいます。

また秋分の 3 日前からの 7 日間を秋の彼岸といいます。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉があるように、暑さが和らぎ、過ごしやすい季節になります。

◆土曜の夜は星をみよう

毎週土曜日夜、プラネタリウム放映と天体観望会を開催

◆サタデーナイトプラネタリウム

30 分間の生解説でお送りします。天体観望会の前に星空を予習したい！という方におすすめです。***今後の状況により変更となる場合があります**
+毎週土曜日 18 時～ 30 分間 (途中入場不可)。要プラネタリウム観覧料。

も〜っと星空散歩 9月の星空を楽しもう～夏の大三角と天の川～ (9月5、12、19、26日)

季節の星座や見ごろの天体をたっぷり紹介します。
天体観望会で観望予定の天体も紹介するので予習できます。
また、そのときどきの天文現象や宇宙の話題もお届けします。

◆天体観望会

+時間：**3月～9月 20時～21時30分** / 10月～2月 19時～20時30分

+観望会は無料。受付は終了時刻の 30 分前まで。天候不良の場合は中止。

+天体観望会のテーマ ***今後の状況により変更となる場合があります**

9月 夏の大三角と天の川をみつけよう / 10月 北十字をみつけよう

***実施の可否は当日 17 時に判断し HP や Twitter、facebook でお知らせします。**
また天候不良により途中で中止となる場合もあります。

◆今月の観望天体 (予定)

- ★ 5日…木星 (縞模様の観察)、土星 (輪っかの観察) など
- ★ 12日…木星、土星 など
- ★ 19日…木星、土星 など
- ★ 26日…月 (月齢 8.7)、木星、土星 など

***水色の文字の天体は、「星みたよ！スタンプラリー」の対象天体です！**

***観望天体や月の撮影は、天候・混雑状況などにより、変更になることがあります。**
***玄関にて整理券を配布し先着 15 グループとなります。1 グループが望遠鏡で天体を見られる時間はおよそ 5 分間、グループごとの完全入替制です。必ずマスク着用をお願いいたします。**
新型コロナウイルス感染対策のため、望遠鏡にアイピースカバーを装着してご覧いただけます。

・・・お知らせ・・・

★ふしぎな宇宙のすてきなお話～宇宙飛行士のなり方、教えます～

宇宙の日講演会 2020 9/13 (日) 14:00～15:30

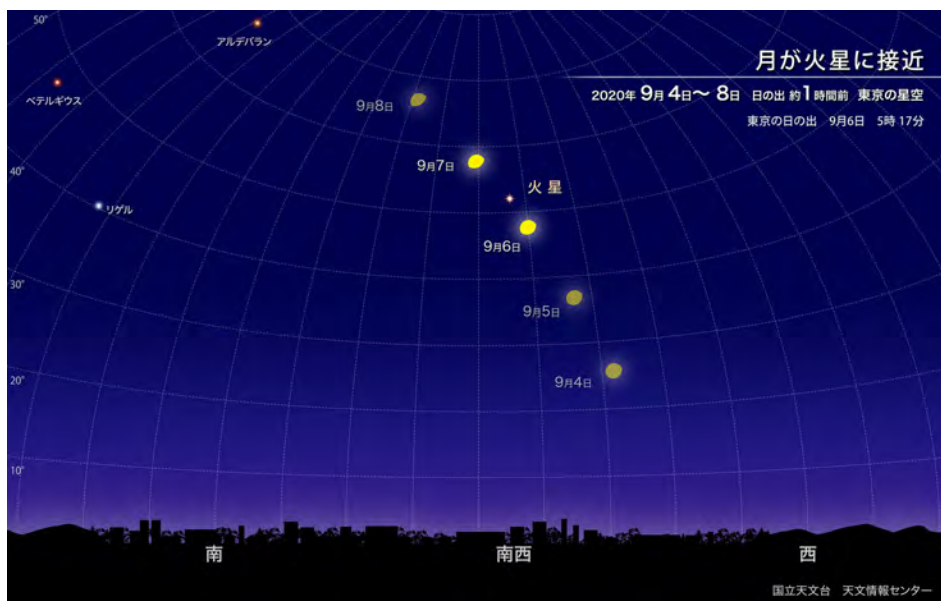
宇宙飛行士は何を目指して宇宙に行く？宇宙での暮らしは？これからの宇宙飛行士の活躍は？どうしたら宇宙飛行士になれる？等々…。宇宙飛行士について考えてみましょう。

講師：渡辺勝己 佐賀県立宇宙科学館《ゆめぎんが》館長

会場：プラネタリウム 参加費無料 小学生以上対象 定員 70 名

ピックアップ★天文現象

月が火星に接近



9月の明け方、南西の空では、急激に明るくなってきた火星が存在感を増しています。6日から7日にかけて、この火星の近くを下弦前の明るい月が通り過ぎていきます。約マイナス 2 等の火星は、月の光に紛れることなく赤く輝いて見えるでしょう。

その後も火星は、10月6日の地球との最接近へ向けてますます明るさを増し、9月末にはマイナス 2.5 等に達します。この頃から 11 月上旬までは、視直径も大きく、表面の様子を望遠鏡で観察するチャンスとなります。ゆめぎんがの天体観望会での観察は 10 月中旬以降になりますが、望遠鏡で覗いてその地形の様子なども観察してみてください。



佐賀県立 宇宙科学館
SAGA PREF. SPACE and SCIENCE MUSEUM
ゆめぎんが

〒843-0021 佐賀県武雄市武雄町永島16351 (武雄温泉保養村内)
TEL 0954-20-1666 FAX 0954-20-1620
https://www.yumeginga.jp